

# 教育委員会だより

## 新しい北多久公民館長を

### ご紹介します

4月1日付けで北多久公民館の館長として、川原博義新館長が就任されました。

川原館長は北多久町中多久一区にお住まいの60歳。中多久一区公民館長や、北多久町体育協合理事、中央中学校育友会副会長などを歴任され、これらの経験を活かして北多久公民館の運営と町の社会教育、生涯学習推進に努められています。



川原新館長の  
就任挨拶

この度、船山公民館長退任に伴い、4月1日付けで公民館長を仰せつかりました川原博義です。

昨年9月に市内の民間企業を定年退職しました。

子供から大人そしてお年寄りに『行事や会合に参加出来て良かった、楽しかった、また出たい』と言って貰えるように運営協力したいと考えています。

北多久町民皆様のご指導とご協力を頂きながら、生涯学習や地域のまちづくりの微力ながら貢献出来るよう、頑張る所存です。

## 第16回論語カルタ大会は

### 11月に開催予定です

今年の論語カルタ大会も昨年引き続き、市内はもとより市外や県外からの参加者を募集して開催します。

開催日 11月15日(日)

会場 西溪中学校 体育館

対象者 小学生、中学生、一般

(高校生以上)

大会にそなえて、論語の学習

がんばってください！

4月9日に教育委員会を開き、議題の「就学援助の認定」について協議し、承認しました。次回の定例教育委員会は、5月14日(木)の13時30分第3委員会室(市役所2階)で開催します。傍聴は自由です。

### ■問い合わせ

教育委員会教育統括室

(市役所4階)

☎ 75-13450

# 春季枳菜―古式ゆかしく

春の陽気と新緑の緑に映えた多久聖廟で4月18日、春季枳菜の祭事を古式ゆかしく執り行い、県内外から訪れた約7000人の観光客は、伝統と文化の香りに包まれていました。



▲聖廟内で行われる枳菜

枳菜は創建以来300年以上続き、県の重要無形民俗文化財に指定されている孔子の遺徳を偲ぶ儀式。

市職員らが扮する伶人が演奏する雅楽の音色が流れる中で、献官の横尾市長や市議会議長、教育長、小中学校長などの祭官が、孔子と4人の弟子(顔子・曹子・子思子・孟子)に餅や甘酒などお供え物を奉げ、最後には各地から寄せられた漢詩も献じました。

儀式が終ると聖廟境内では、あでやかな衣装を身にまとった多久高校と西溪中学校の生徒が『枳菜の舞』を披露したり、市在住の音楽家・趙勇さんが奏でる楊琴の音色にあわせ、去年の300年祭で復活した『参列生徒の唱歌』を合唱。今回は『ふるさと多久町』が歌われたり、仰校門前では、『腰鼓』もリズムよく披露されました。

福岡県から訪れた観光客は「地元の子ども達も参加して、伝統ある祭典が地域全体で守られていることに感動しました」と話され、一連の催しや聖廟一帯の散策も楽しまれました。



▲多久高と西溪中生徒が華麗に舞った『枳菜の舞』



▲趙勇氏の演奏で、『ふるさと多久町』を初披露する中部小4・5年生



▲サガテレビのキャラクター「ミランバくん」も注目した中部小6年生の『腰鼓』